

(様式)

## シンポジウム等の概要について(事後報告)

- 1 名称 : 衛星情報・地理情報と防災イノベーション  
(第2回防災推進国民大会の団体別セッションとして開催)
- 2 日本学術会議の主催者 : 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会
- 3 その他の主催団体等 :
  - ・主催 : 防災学術連携体
  - ・協力 : 宇宙航空研究開発機構(JAXA)、国土交通省 国土地理院
- 4 開催日時 : 平成29年11月26日(日) 11時30分～13時00分
- 5 開催場所 : 仙台国際センター会議棟2階 桜1
- 6 開催趣旨 :  
衛星情報・地理情報に関する現状と将来計画を関連学会から紹介するとともに、衛星情報・地理情報の利用事例を発表する。衛星情報・地理情報のイノベティブな活用方法、未知の分野とのコラボレーションを模索するとともに、防災に関わる学会ネットワークである防災学術連携体に期待される役割についても議論する。
- 7 参加人数 :  
講演者等 : 11名  
その他の参加者 : 140名
- 8 特記事項 :  
本シンポジウムでは、7学会から最先端の興味深い内容の講演が一般市民を含む多数の聴講者に対して行われ、活発な質疑応答があった。  
また別途ポスターセッションとして、8学会より各種の技術情報や利活用についての発表があり、来訪された方々への説明が行われた。
- 9 発表資料は次の URL に保存されている。  
[http://janet-dr.com/07\\_event/171126sympo/171126o\\_all.pdf](http://janet-dr.com/07_event/171126sympo/171126o_all.pdf)
- 10 ポスターセッションの資料は次の URL に保存されている。  
[http://janet-dr.com//07\\_event/171126sympo/171126pall.pdf](http://janet-dr.com//07_event/171126sympo/171126pall.pdf)

以上

(様式)

## シンポジウム等の概要について(事後報告)

- 1 名称 : 衛星情報・地理情報を防災に生かそう  
(第2回防災推進国民大会の連携セッションとして開催)
- 2 日本学術会議の主催者 : 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会
- 3 その他の主催団体等 :
  - ・主催 : 防災学術連携体
  - ・共催 : 宇宙航空研究開発機構(JAXA)、国土交通省 国土地理院  
[ 大会主催者 (内閣府 防災担当) ]
  - ・協力 : 徳島県
- 4 開催日時 : 平成29年11月26日(日) 13時00分～15時00分
- 5 開催場所 : 仙台国際センター会議棟2階 桜1
- 6 開催趣旨 :

日本学術会議地球惑星科学委員会の支援のもと、衛星情報・地理情報の防災分野での利用事例やイノベティブな活用方法を紹介するとともに、地方自治体との連携の可能性、今後の未知の分野とのコラボレーションの可能性を模索する。
- 7 参加人数 :

講演者等 : 10名  
その他の参加者 : 140名
- 8 特記事項 :

本シンポジウムでは、衛星情報と地理情報のそれぞれに関し、2名の方々から最先端の興味深い内容の講演が行われた。

この後、各学会や徳島県を含む各分野からの7名の方々により、ディスカッションが行われた。最先端の技術を実際の防災の場に活用するための課題やそれに対する対策などについて意見交換が行われ、今後の抱負が述べられた。

各技術分野の専門家からの情報発信と利用する立場の自治体との意見交換は、聴講者の理解も進み、新しい技術の防災への有効活用に向けて、非常に有意義なものであった。
- 9 発表資料は次の URL に保存されている。  
[http://janet-dr.com//07\\_event/171126sympo/171126c/171126c\\_all.pdf](http://janet-dr.com//07_event/171126sympo/171126c/171126c_all.pdf)